

◇表彰

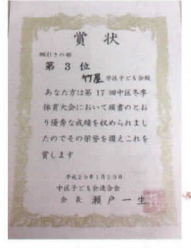
全国民生委員・児童委員連合会  
会長表彰  
堤 静枝 東平塚町  
広島市社会福祉協議会会長表彰  
合田 一基 鶴見町

◇第六十五回全国書道展覧会  
書の友賞

堤 結香 東平塚町 小五  
奨励賞  
徳永かのん 東平塚町 小一  
秀作  
定井 宏憲 東平塚町 小六  
船井 まい 鶴見町 小三  
徳永かのん 東平塚町 小一

◇中区子ども会冬季球技大会

総合七位  
場所 中区スポーツセンター  
月日 一月二十九日(日)



◇平成二十九年度  
竹屋地区新成人  
男性 六名  
女性 十七名  
計 二十三名

◇竹屋つ子夢トライ  
ステーション

場所 竹屋児童館  
筆遊び 一月十二日(木)  
お茶会 三月九日(木)

◇竹屋公民館まつり

三月十一日(土)  
十二日(日)

◇平成二十八年度卒業証書  
授与式

国泰寺中学校 三月十二日(日)  
竹屋小学校 三月十七日(金)

◇平成二十九年度入学式

竹屋小学校  
国泰寺中学校  
四月十日(月)



◇ふれあいサロン会

竹屋町 三月十五日(水)  
鶴見町 三月二十三日(木)  
・地産地消を進める  
・竹屋げんきネット

◇歩こう会

場所 縮景園  
日時 三月二十六日(日)  
昭和町 三月二十七日(月)

◇オープンスペースばんぶー

場所 竹屋公民館  
曜日 毎月第二金曜日

◇社協と民児協の合同研修会

二月二十三日(木)  
住民主体のまちづくり



新年互礼会  
支え合う地域の絆

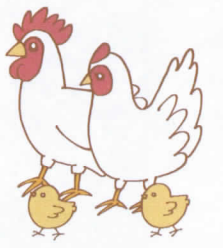
竹屋地区社会福祉協議会 会長  
近藤 聿興



竹屋地区社会福祉協議会の新年互礼会を二月二十日(金)、オリエンタルホテルで開催しました。仙波副区長・岸田外務大臣夫人を始め、多くの来賓の御出席を頂きました。地域役員七十四名の参加が有りまし

た。来賓の御祝辞は、竹屋地区社会福祉協議会が取り組んでいる『住みよいまちづくり』に、力強い励ましの言葉を多く頂きました。

これから取り組みを始める高齢者支え合い事業は、『竹屋げんきネット』と名付けられ、事務局は、国泰寺地域包括支援センターが受け持ちます。竹屋げんきネットは、支えるだけでも無く、支えられるだけでも無い、お互い助け合う、人と人とのつながりを大切にしたい取り組みにしたいと考えています。各町内会の絆が頼りの事業で



たけや大好き



竹屋獅子舞 ~招福の舞~  
1月28日(土)



中區子ども会冬季球技大会  
1月29日(日)



第65回全国書道展覧会  
書の友賞 入選作品

◎ご相談ください。

竹屋地区社会福祉協議会は、竹屋集会所に事務所を開設しています。社協役員が皆様のご相談に応じています。

開所日 水・金曜日  
時間 午前十時から正午まで  
電話 〇八二・五〇四・九一四四

◎車いすを貸出し致します。

竹屋地区にお住いの方で一時的(一〜二週間)に車いすを借りたい方は、各町の町内会長又は民生委員を通して竹屋社協事務局浅野まで申請して下さい。また、一〜二か月の借受けを希望される方は、中区社協が貸出を希望しますのでご相談ください。

※広報紙発行費の一部に共同募金の分配金が充てられています。

編集後記

竹屋地区社会福祉協議会は、ボランティアで運営しています。皆様の声を活かしてみませんか。記事をお待ちしております。

編集委員

松田正人・吉村優子・船井めぐみ  
山川文博・津村嘉弥子・津村創



とんどまつり実行委員長  
浅野典久

とんどまつり  
とんどまつり実行委員長  
浅野典久

とんどまつり  
とんどまつり実行委員長  
浅野典久

とんどまつり  
とんどまつり実行委員長  
浅野典久

とんどまつり  
とんどまつり実行委員長  
浅野典久



- 竹屋小学校
- 竹屋小学校PTA
- 竹屋学区子ども会
- 母親クラブ
- 南中ソーラン
- 広島竹屋ソフトボールクラブ
- 竹屋少年サッカークラブ
- 竹屋児童館
- 竹屋公民館
- 竹屋獅子舞
- 夢屋ライオンズ
- 青少年健全育成連絡協議会



「飛びついて来た子ども」  
子どもが飛びついて来た。あつという間にもう何処かへ駆けて行ってしまった。その子の親しみを気のついた時には、もう向こうを向いている。私は果たしてあの飛びついて来た瞬間の心を、その時ぴたりと受けてやっただろうか。それに相当する親しみで応じてやっただろうか。

後でやつと気がついてのこのこ出かけて行って、先刻はといったところで、活きた時機は逸し去っている。埋めあわせのつもりで、親しさを押しつけてゆく。と、しつこいといった顔をして逃げていったりする。其の時にあらずんば、うるさいに違いない。時は、さっきのあの時である。

（フレーベル館『育ての心(上)』  
倉橋惣三より）

## 「教育的瞬間」を大切に

広島市立竹屋小学校 校長  
尾形慎浩



これは、私が「教育者の心の在り方」として大切にしている本の一節で、幼児教育の父と言われた「倉橋惣三」先生の著書「育ての心」の中に述べられているものです。日々、子どもと関わる時、子どものそばに寄り添う、話を聴く、共感する、ほめる、アドバイスをするなど、私たち回りの大人の働きかけにより子どもがぐんと成長する瞬間、即ち「教育的瞬間」が、必ずあります。学校、家庭、地域のあらゆる場面で、子どもに関わるすべての大人が育てたい目標を共有し、子どもの姿を通して学び合いながら、子どもの一瞬の変化に気づくシャープな感性を磨くことが、今、子どもに関わる私たちすべての大人に求められていると思います。

これまで、地域の皆様には、「子どもは地域の宝」として、常に子どもを第一に考え、地域ぐるみで子どもを育てていただいていることに感謝の思いでいっぱいです。どうか皆様方、これまでの子ども第一に考えていただいていた取り組みの蓄積の上に立って、地域の方々、保護者、教職員など、子どもに関わるすべての大人が連携・協働して「教育的瞬間」を見逃すことなく、地域ぐるみで子どもの成長を支える「チーム竹屋」の創造に向けたご支援を今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

## 成人の抱負

鶴見町南部 河野 有妃子



一月九日、無事に成人式を迎えることができました。

これまでの自分にとって、「何かを頑張る過程」というものがとても大きかったように思います。竹屋小にいたところから努力すること、我慢すること、そういった過程が自分を成長させた事は間違いありません。

しかし成人を迎え、これからは、それに伴う結果を残したいと思うのです。「頑張ったからいいよ」は子供の許される段階であり、一方、頑張った、そしてこのような影響を与えた、これを生みだした、それが社会で責任を果たすことなのではないかと思います。

大学で学んでいること、様々な活動での経験、それら一つ一つを通して強く美しい女性になりたいと思います。